

オークヴィルの銘醸地に自社畑を持つ老舗ワイナリーは、新たな後継者を得て伝統の継承と革新を続け新たな高みを目指す

創業者・故レスリー・ラッド氏が1996年にオークヴィル東側、シルヴァラード・トレイルとオークヴィル・クロスロードとが交差するナパ・ヴァレーでも特級ワイナリーが結集する地区に自社畑を購入。素晴らしいテロワールと有名ワインメーカーのバトンリレーにより高い評価を受けてきた。ワインはオーガニック栽培の自社畑のみから造られ、赤ワインは銘醸地オークヴィル東側から、白ワインはオークヴィルの西側山麓マウント・ヴィーダーから造られる。2015年にレスリーの娘サマンサが継承し、新たな息吹を新しいチームと共に吹き込んでいる。「クロスローズ」は自社畑のみで造るセカンド・セレクション。



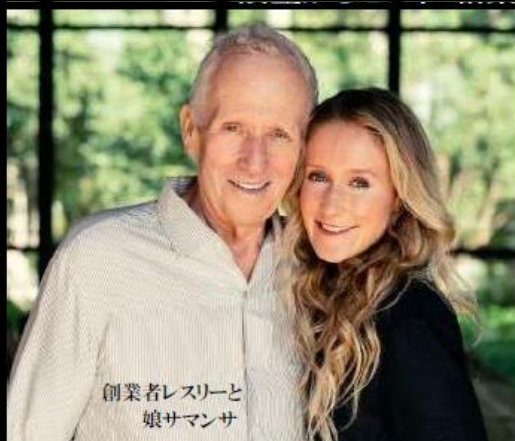
限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Sauvignon Blanc Mt.Veeder Estate ソーヴィニヨンブラン マウント・ヴィーダー エステート Mt.Veeder, Napa Valley		白	2021	750	¥23,000	在庫僅少 次22VTG 5月入荷予定
Sauvignon Blanc 99%, Semillon 1% オークヴィルの西丘陵マウント・ヴィーダーの山頂近く、東南向き、急斜面。冷たい風が吹き込み秀逸な酸をキープし、朝日浴びゆっくりと熟し糖度は高くまで上がらず、フレッシュさを保つ。オーガニック栽培。ヴィンテージより変わるが発酵・熟成は樽約50%、コンクリート約30%、テラコッタ約18% 白桃のリッチさ、ピンク・グレープフルーツのトロピカルな要素、塩味、石を感じさせる硬さが共存。							
	Samantha's Cabernet Sauvignon Oakville Estate サマンサズ カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィル・エステート Oakville		赤	2018 2019 2017	750 750 1500	¥28,000 ¥32,000 ¥51,000	マガナム限定数入荷
Cabernet Sauvignon100% 赤ワインの自社畑はオークヴィルの東側、銘醸畑が集まるほぼ真ん中に位置する。スクリーミング・イーグル、ボンドのセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディ、ジョゼフ・フェルプスのバックスなど。3つの違った土壌から多様性のある葡萄となる。オーガニック栽培。数種の醗酵槽と使い、仏産樽22か月熟成(新樽63%) 鉄分を多く含んだ赤土壌から、シャルキトリや赤身のニュアンスや、たばこや葉巻、スパイシーさも現れフルボディで凝縮したタンニン。							
	Red Wine Oakville Estate レッド・ワイン オークヴィル・エステート Oakville		赤	2017 2018 2019 2016	750 750 750 1500	¥38,000 ¥42,000 ¥48,000 ¥72,000	マガナム限定数入荷
17) Cabernet Sauvignon 88%, Cabernet Franc12% 赤土の火山性土壌、白っぽい川の堆積土壌、粘土と砂の混じる土壌と3つの違った土壌から多様性のある品種の個性が生み出される。オーガニック栽培。数種の醗酵槽と使い、仏産樽22ヶ月熟成(新樽17V/44%) 森林の香、鉛筆の芯、メントール、中華のスパイスなど魅惑的なアロマが立ち、ミドル〜フルボディで驚くようなフレッシュさも持ち合わせる。細かくこねたタンニンがスパイスの印象を持って長く残る。16) CS91%, CF8%, PV1% 仏産樽熟成21か月(新樽78%) 18) CS94%, CF6% 仏産樽熟成22か月(新樽58%) 19) CS94%, CF6% 仏産樽熟成22か月(新樽58%)							
	Leslies's Blend Mount Veeder Estate レスリーズ・ブレンド マウント・ヴィーダー・エステート Mt.Veeder		赤	2017 2018	750	¥42,000 ¥48,000	限定数入荷
17) Cabernet Sauvignon45%, Merlot23%, Cabernet Franc20%, Petit Verdot6%, Malbec6% マウント・ヴィーダー標高490m 6.5 haの自社畑 山の頂上近く。仏産樽にて約2年熟成(新樽率27%) 強烈な森林のアロマ、ハーブのニュアンス。マウント・ヴィーダーの特徴である樹脂、苔、針葉樹の爽快感(ミントのような)が常に感じられる。口当たりはシルクの様に細やかで、タンニンは力強く堅牢だが、全体のバランスは絶妙に取れている。18) CS45%, ME23%, CF20%, PV6%, Malbec6% 仏産樽にて約2年熟成(新樽率30%)							
商品写真							
	CROSSROADS by RUDD Sauvignon Blanc Mt.Veeder Estate クロスローズ by ラッド ソーヴィニヨン・ブラン マウント・ヴィーダー エステート Mt.Veeder		白	2021	750	¥7,800	
Sauvignon Blanc 約90%、残りはSauvignon Gris, Semillon クロスローズは自社畑から造られ、醸造はラッドと全く同じ、ブレンド時に分けられれ追加熟成・瓶詰め。20) コンクリート・タンク41%、仏産樽(数年使い) 34%、仏産新樽25%醗酵・熟成約9か月 オークヴィルの西丘陵マウント・ヴィーダーの山頂近く、東南向き急斜面秀逸な酸がフレッシュさを保つ。オーガニック栽培。レモンタルト、ライムジュース、アーモンドが香りミディアムボディで爽快な酸。21) コンクリート・タンク61%、仏産樽(数年使い) 32%、仏産新樽7%で醗酵・熟成8か月							
	CROSSROADS by RUDD Cabernet Sauvignon Oakville Estate クロスローズ by ラッド カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィル・エステート Oakville		赤	2018 2019	750	¥12,500	
Cabernet Sauvignon ほぼ100% カベルネ・フラン、プティ・ヴェルド少々。赤ワインの自社畑はオークヴィルの東側、銘醸畑が集まるほぼ真ん中に位置する。スクリーミング・イーグル、ボンドのセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディ、ジョゼフ・フェルプスのバックスなど。3つの違った土壌から多様性のある葡萄となる。オーガニック栽培。数種の醗酵槽と使い、仏産樽約2年熟成(新樽率50%) 鉄分を多く含んだ赤土壌の個性がワインの味わいにも現れフルボディ、凝縮感のあるタンニン。							

RUDD ラッド・エステート



ナパ・ヴァレーの銘醸地「オークヴィル」の東西両サイドに至高の自社畑を持つ
設立から 20 年・創業者から → 次世代に引き継がれていく



創業者レスリーと
娘サマンサ

創業者・故レスリー・ラッドは数々の飲食産業で成功を収め、1996年にオークヴィルの国道29号線より東、オークヴィル・クロスロードとシルヴァラード・トレイルが交差する地点周辺の土地を購入し、ボルドーのシャトー・オー・ブリオンを目標に、フランスとアメリカ双方の有識者のアドバイスの元(Château Haut-BrionのJean Bernard Delmas, Loireの故Didier Dagueneau, PetrusのOlivier Berrouet, Ramey VineyardsのDavid Rameyなど)、テロワールの究極の表現を反映したワインを生み出すには、農業とワイン造りについての独特のアイデアを持ち、職人技、芸術性、卓越性を生かし、多世代にわたる遺産の継承が必要であるというヴィジョンを持ち続け、ラッド・エステートを磨き上げてきました。ワイナリーだけでなく、2014年までディーン&デルカカーのオーナーであり、また素晴らしいナパ・ヴァレー・ワインのライブラリーコレクションを持つPRESSレストランのオーナーとして、ナパ・ヴァレーの発展にも大きく貢献してきました。妻のシーズンにはラッドの素晴らしい庭園、果樹園の管理に心血を注ぎ、彼女の笑顔と暖かい人柄はラッド・エステートに充満しています。

2015 年娘のサマンサ・ラッドがボルドーのシャトー・マルゴー、ナバ・ヴァレーのスポット・ウッドでのインターン、パリでのビジネスの研修を終え、ワイナリーに帰ってきました。サマンサは子供の頃からこのオークヴィル・エステートで育ち、自分の将来を見据え研修を積んできました。父が情熱を注いだ至宝なるこの土地とワイン・ビジネスを家族で次世代に引き継いでいくことになりました。ナバ・ヴァレーではロバート・モンダヴィ世代からその子へ、その孫へと世代交代が進んでいます。しかしながら、全てのワイナリーの創業者家族が引き継いで行くことは非常に難しく、精神的、経済的に問題なく家族に引き継がれていくことは稀です。多くは大手資本に売却したり、一代で終わってしまうワイナリーも沢山あります。ラッド・エステートの場合は父から娘へ非常にうまく引き継がれたと 2019 年 1 月の「ロブ・レポート」(アメリカのラグジュアリー・マガジン、ウェブサイト)に掲載されました。サマンサは最高の布陣を整え、チームでこれからのラッド・エステートを将来に繋いでいきます。これからの動向が注目されます。

マウント・ヴィーダー・エステート



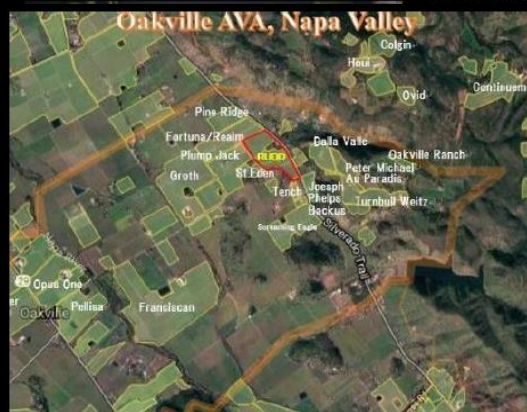
マウント・ヴィーダー・エステート

ナバ・ヴァレーの西側マヤカマス山脈の南側に位置するマウント・ヴィーダー標高 490m に 32 ha の土地を持ち、6.5 ha に葡萄を植樹、その周りにはオーガニックの野菜、ハーブ、オリーブを栽培しています。植樹する品種はフランス・ロワールの故ディディエ・ダグノーからアドバイスをを受け、リッジのポール・ドレイパーが植替えの際に指南役だったという豪華さ。山の頂上近く、東南を向き、30 度の斜度の急斜面。冷たい風が吹き込む為、秀逸な酸をキープし、朝日を十分浴びてゆっくりと熟するため糖度は急上せず、フレッシュさと完熟を完成させるソーヴィニオン・ブラン最適な畑です。

オーガニック栽培

外部から買う肥料や農薬は避け、ほとんどをオーガニックで自社製造し、除草剤、殺虫剤は使いません。有益な昆虫を放ち、ルリツグミやフクロウの巣箱、猛禽類の止り木を葡萄畑に設置しています。シャープシューターを餌とする一種のブルーバードが周りの森に棲んでいます。

数年前から少数の羊を夏の間マウント・ヴィーダー・エステートに放っています。カバークロップや雑草を適度に食べ草刈りの手間が減り、トラクターが畑にはいらないので、その重量で土を固めることがありません。また羊の堆肥で土壌に窒素を養います。重要な事は土壌の健康です。葡萄の根が微生物を介して健康的に土壌の個性を吸い上げるのが理想です。



オークヴィル・エステート ナバ・ヴァレー、オークヴィルの国道 29 号線より東側のヴァレー・フロアから、シルヴァード・トレイルを越えてプリチャード・ヒルに続く丘陵は、ナバ・ヴァレーの「メッカ」とも言われ、超有名ワイナリーがひしめきます。スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディ、レイミーのペドリカル、ターンブルのウェイツなどなど。ラッドはそのほぼ真ん中に赤ワイン品種が植わる自社畑とワイナリーを所有します。畑の母岩は固い火山岩で、3 つの違った土壌が特徴です。ワイナリーを取り囲む 23 ha は昔ヴァカ山の火山から流れてきた火山性土壌の赤土で保水力があり、鉄分、鉱物感、豊富な果実味、力強いタンニンが特徴となります。ワイナリーの北側 16 ha はなだらかな斜面で小石が混じる川の堆積土壌で水はけが良いため、バランスがとれた複雑味に富んだ葡萄となります。オークヴィル・クロスロードの南にある 3 ha の区画は粘土質と砂が混じった東向き斜面で個性的な凝縮感を生みます。三つの違う土壌により、多様性のある葡萄が栽培され、カベルネ・ソーヴィニオンを主体に、カベルネ・フラン、プティ・ヴェルド、マルベックを適した土壌に合わせて植樹しています。

オーガニック栽培 外部から買う肥料や農薬は避け、ほとんどをオーガニックで自社製造し、除草剤、殺虫剤は使いません。有益な昆虫を放ち、ルリツグミやフクロウの巣箱、猛禽類の止り木を葡萄畑に設置しています。シャープシューターを餌とする一種のブルーバードが周りの森に棲んでいます。数年前から少数の羊を冬から春にかけてオークヴィル・エステートに放っています。カバークロップや雑草を適度に食べ草刈りの手間が減り、トラクターが畑にはいらないので、その重量で土を固めることがありません。また羊の堆肥で土壌に窒素を養います。重要な事は土壌の健康です。葡萄の根が微生物を介して健康的に土壌の個性を吸い上げるのが理想です。



ソーヴィニオン・ブラン マウント・ヴィーダー エステート ナバ・ヴァレー 2021 Sauvignon Blanc Mt. Veeder Estate Napa Valley

★高地・急斜面・南東向き斜面からアロマティックで濃厚なソーヴィニオン・ブラン

希望小売価格 23,000 円(税別)

品種：ソーヴィニオン・ブラン 99%, セミヨン&ソーヴィニオン・グリ 1%

AVA: マウント・ヴィーダー、ナバ・ヴァレー

畑：ナバ・ヴァレーの西側マヤカマス山脈の南側に位置するマウント・ヴィーダー標高 490m 6.5 ha の自社畑。

山の頂上近く、東南を向き、30 度の斜度の急斜面。火山性土壌で火成岩や火山灰が凝固した流紋凝灰岩、角礫岩、安山岩が混じり、岩石の硬さを思わせるミネラル感が生まれる。冷たい風が吹き込む為、秀逸な酸をキープし、朝日を十分浴びてゆっくりと熟するため糖度は急上せず、フレッシュさと完熟の両方を兼ね備えるソーヴィニオン・ブランや白系品種に最適の畑と評価されています。(オーガニック栽培)

ヴィンテージ: 2021VTG のマウント・ヴィーダーでのソーヴィニオン・ブランの収穫はかなり早く、8 月 17 日に始まり、わずか 13 日でセミヨン、ソーヴィニオン・グリと白ワイン品種の収穫を終えました。キャノピーも房も粒も非常に小さい為、収穫量は少なく、その結果、凝縮された果実の風味が際立ち、ヴィンテージの美しさが凝縮されています。生産量が少ないのは、生育期のリズムによるものです。2021 年ヴィンテージの品質レベルは、他に類を見ない素晴らしいものです。**醸造:** 繊細にプレスした後、3 種類の発酵槽を使い、熟成は 63% 数年使いの仏産樽、20% 仏産新樽、17% テラコッタのアンフォラで 10 か月間熟成後、絶妙なバランスでブレンドする。

味わい: 大胆なゴールドンデリシャスアップル、さわやかなキウイ、酸味のあるネクタリンのニュアンスが香り、常に進化し続ける爽快感は、このワインの豊富な果実味を見事に引き締める。ベルベットのようになめらかな口当りは素晴らしい、飲み疲れすることなく、繊細で、生き生きとした果実味は厚みと密度を示しています。リリース仕立ても十分に楽しめ、今後の瓶熟成も期待される。



サマンサズ カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィル エステート ナバ・ヴァレー 2018 SAMANTHA'S Cabernet Sauvignon Oakville Estate Napa Valley

★ラッドのオークヴィル・エステートが表現するベスト・カベルネ・ソーヴィニヨン 希望小売価格 28,000 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100% AVA: オークヴィル、ナバ・ヴァレー

畑：ナバ・ヴァレーの「メッカ」とも言われるオークヴィル東側ヴァレー・フロアから丘陵にかけては超有名ワイナリーがひしめき、スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディなどに囲まれたほぼ真ん中にある自社畑は最高級のプレミアム・カベルネ・ソーヴィニヨンが生み出されます。ラッドの自社畑は固い火山岩の母岩の上に、3つの違った土壌を持つのが特徴です。(オーガニック栽培)

1. 火山性土壌の赤土で保水力があり、鉄分、鉍物感、豊富な果実味、力強いタンニンが特徴
2. 小石が混じる川の堆積土壌でなだらかな斜面。水はけが良いため、バランスのとれた複雑味に富んだ葡萄となる。
3. 粘土質と砂が混じった東向き斜面で個性的な凝縮感ときめ細やかなタンニン分を生みます。

ヴィンテージ: 2018VTG はむずかしかった 2017VTG の後、品質、収量とも完璧なナバ・ヴァレーのお手本とも言える年。たっぷりと雨が降った冬から春、おだやかな初夏から十分な日照、熱波もなく栽培チームが十分な管理を行え、収穫も最適なタイミングを捉え何回にも分け、糖度・成熟度を見て収穫。素晴らしい葡萄となった。9月19日に始まり、約10日間、11回に分けての収穫になった。

醸造：土壌の違いにより、発酵槽を分け、ステンレス・タンク、コンクリート・タンク、小樽醗酵、コンクリート・エッグを使う。仏産樽にて22か月熟成 (新樽率 63%)

味わい：黒紫がかった濃厚な色合い、最初に香るのは生き生きとしたフレッシュなベリー系カシスのニュアンス、ブラック・ベリー・パイ、砂糖漬けしたプラム、モカ、鉛筆の芯、メントール、ライラックの花、クローヴ、炭火焼きした肉などが様々な要素が幾重にも重なる。生き生きとしたフルーツ、岩・土壌を感じさせる鉍物感、タンニンは堅牢でがっしりしており、自然の酸が全体を引き締めて、余韻が非常に長く続きミネラル感が残る。肉系とは是非合わせていただきたい。

Parker Point 96+P (Wine Advocate Jan. 2021 by Lisa Perrotti-Brown)

輸入・販売：(株)中川ワイン TEL:03-5829-8161



サマンサズ カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィル エステート ナバ・ヴァレー 2019 SAMANTHA'S Cabernet Sauvignon Oakville Estate Napa Valley

★ラッドのオークヴィル・エステートが表現するベスト・カベルネ・ソーヴィニヨン 希望小売価格 32,000 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100% AVA: オークヴィル、ナバ・ヴァレー

畑：ナバ・ヴァレーの「メッカ」とも言われるオークヴィル東側ヴァレー・フロアから丘陵にかけては超有名ワイナリーがひしめき、スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディなどに囲まれたほぼ真ん中にある自社畑は最高級のプレミアム・カベルネ・ソーヴィニヨンが生み出されます。ラッドの自社畑は固い火山岩の母岩の上に、3つの違った土壌を持つのが特徴です。(オーガニック栽培)

1. 火山性土壌の赤土で保水力があり、鉄分、鉍物感、豊富な果実味、力強いタンニンが特徴
2. 小石が混じる川の堆積土壌でなだらかな斜面。水はけが良いため、バランスのとれた複雑味に富んだ葡萄となる。
3. 粘土質と砂が混じった東向き斜面で個性的な凝縮感ときめ細やかなタンニン分を生みます。

ヴィンテージ: 素晴らしい 2018VTG に続き、2019 年も素晴らしい年となった。冬にはたっぷりと雨が降り、穏やかな春から夏、数度の熱波が来たものの、夏の終盤は涼しくなり、葡萄はゆっくりと成熟し、長い生育期間を持つことができた。9月25日から収穫が始まり、10月の後半まで区画毎の個性に従った収穫タイミングを待ち、素晴らしい色合いと力強い、豊かなタンニンが得られた。

醸造：土壌の違いにより、発酵槽を分け、ステンレス・タンク、コンクリート・タンク、小樽醗酵、コンクリート・エッグを使う。仏産樽にて22か月熟成 (新樽率約 60%)

味わい：黒紫がかった濃厚な色合い、最初に香るのは生き生きとしたフレッシュなベリー系カシスのニュアンス、ブラック・ベリー・パイ、砂糖漬けしたプラム、モカ、鉛筆の芯、メントール、ライラックの花、クローヴ、炭火焼きした肉などが様々な要素が幾重にも重なる。生き生きとしたフルーツ、岩・土壌を感じさせる鉍物感、タンニンは堅牢でがっしりしており、自然の酸が全体を引き締めて、余韻が非常に長く続きミネラル感が残る。肉系とは是非合わせていただきたい。



レッド・ワイン オークヴィル エステート ナバ・ヴァレー 2018 Red Wine Oakville Estate Napa Valley

★ラッドのフラッグシップ 〜ラッド・エステートの個性が凝縮される〜

希望小売価格 42,000 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 94%、カベルネ・フラン 6%

AVA: オークヴィル、ナバ・ヴァレー

畑：ナバ・ヴァレーの「メッカ」とも言われるオークヴィル東側ヴァレー・フロアから丘陵にかけては超有名ワイナリーがひしめき、スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディなどに囲まれたほぼ真ん中にある自社畑から最高級のプレミアム・レッド・ワインが生み出されます。ラッドの自社畑は固い火山岩の母岩の上に、3つの違った土壌を持ち、カベルネ・ソーヴィニヨンを主体に、カベルネ・フラン、ブディ・ヴェルド、マルベックを適した土壌に植樹。

- ワイナリーを取り囲む 23 ha は昔ヴァカ山からの火山性赤土で保水力があり、鉄分、鉍物感、豊富な果実味、力強いタンニンが特徴。
- ワイナリーの北側 16 ha はなだらかな斜面で小石が混じる川の堆積土壌で水はけが良いため、バランスのとれた複雑味に富んだ葡萄
- オークヴィル・クロスロードの南にある 3 ha の区画は粘土質と砂が混じった東向き斜面で個性的な凝縮感を生みます。

ヴィンテージ: 2018VTG はむずかしかった 2017VTG の後、品質、収量とも完璧なナバ・ヴァレーのお手本とも言える年。たっぷりと雨が降った冬から春、おだやかな初夏から十分な日照、熱波もなく栽培チームが十分な管理を行え、収穫も最適なタイミングを捉え何回にも分け、糖度・成熟度を見て収穫。素晴らしい葡萄となった。9月19日に始まり、16日間、10回に分けての収穫になった。

醸造：土壌と品種の違いにより発酵槽を分け、ステンレス・タンク、コンクリート・タンク、小樽醗酵、コンクリート・エッグを使う。仏産樽にて22か月熟成 (新樽率 58%)

味わい：黒みを帯びた深紫の色合い、魅惑的なブラック・ベリー・パイのニュアンスが最初に香り立つ。フレッシュなブルー・ベリー、ブラック・チェリー、リコリス、野生ハーブ (ガリガー) など。大きな特徴は口に含んだ時のなめらかさ、やわらかさ、旨みのあるタンニン、生き生きとした果実がたっぷりで、芯にしっかりと個性が凝縮して詰まっている。それはラッドの自社畑の大きな要素＝火山性堆積土壌の特徴＝鉄分を多く含む赤土のニュアンスであり、そこに酸の綺麗さが重なる。土、鉄分、オークヴィルの個性を十分に感じさせるラッドのフラッグシップワイン。

Parker Point 98+P (Wine Advocate dated Jan. 2021 by Lisa Perrotti-Brown)

レッド・ワイン オークヴィル エステート ナパ・ヴァレー 2019 Red Wine Oakville Estate Napa Valley

★ラッドのフラッグシップ 〜ラッド・エステートの個性が凝縮される〜

希望小売価格 48,000 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 94%, カベルネ・フラン 6%

AVA: オークヴィル、ナパ・ヴァレー

畑：ナパ・ヴァレーの「メッカ」とも言われるオークヴィル東側ヴァレー・フロアから丘陵にかけては超有名ワイナリーがひしめき、スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディなどに囲まれたほぼ真ん中にある自社畑から最高級のプレミアム・レッド・ワインが生み出されます。ラッドの自社畑は固い火山岩の母岩の上に、3つの違った土壌を持ち、カベルネ・ソーヴィニヨンを主体に、カベルネ・フラン、プティ・ヴェルド、マルベックに適した土壌に植樹。

●ワイナリーを取り囲む 23 ha は昔ヴァカ山からの火山性赤土で保水力があり、鉄分、鉍物感、豊富な果実味、力強いタンニンが特徴。

●ワイナリーの北側 16 ha はなだらかな斜面で小石が混じる川の堆積土壌で水はけが良いため、バランスのとれた複雑味に富んだ葡萄

●オークヴィル・クロスロードの南にある 3 ha の区画は粘土質と砂が混じった東向き斜面で個性的な凝縮感を生みます。

ヴィンテージ：素晴らしい 2018VTG に続き、2019 年も素晴らしい年となった。冬にはたっぷり雨が降り、穏やかな春から夏、数度の熱波が来たものの、夏の終盤は涼しくなり、葡萄はゆっくりと成熟し、長い生育期間を持つことができた。9月25日から収穫が始まり、10月の後半まで区画毎の個性に従った収穫タイミングを待ち、素晴らしい色合いと力強さ、豊かなタンニンが得られた。

醸造：土壌と品種の違いにより発酵槽を分け、ステンレス・タンク、コンクリート・タンク、小樽醗酵、コンクリート・エッグを使う。仏産樽にて 22 か月熟成 (新樽率 58%)

味わい：黒みを帯びた深紫の色合い、魅惑的なブラック・ベリー・パイのニュアンスが最初に香り立つ。フレッシュなブルー・ベリー、ブラック・チェリー、リコリス、野生ハーブ (ガリグー) など。大きな特徴は口に含んだ時のなめらかさ、やわらかさ、旨みのあるタンニン、生き生きとした果実がたっぷり、芯にしっかりと個性が凝縮して詰まっている。それはラッドの自社畑の大きな要素=火山性堆積土壌の特徴=鉄分を多く含む赤土のニュアンスであり、そこに酸の綺麗さが重なる。土、鉄分、オークヴィルの個性を十分に感じさせるラッドのフラッグシップワイン。



レスリーズ・ブレンド マウント・ヴィーダー エステート ナパ・ヴァレー 2017 LESLIE'S BLEND Mt. Veeder Estate Napa Valley

★創業者・故レスリー・ラッドに捧げるラッド最高峰にして、非常にユニークなマウント・ヴィーダーの自社畑(高地・南東向き急斜面)への献身的農作業、醸造のマジックで造り上げるパワフル・ワイン

希望小売価格 42,000 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 45%, メルロ 23%, カベルネ・フラン 20%, プティ・ヴェルド 6%, マルベック 6%

AVA: マウント・ヴィーダー、ナパ・ヴァレー

畑：ナパ・ヴァレーの西側マヤカマス山脈の南側に位置するマウント・ヴィーダー標高 490m 6.5 ha の自社畑。

山の頂上近く、東南を向き、30度の斜度の急斜面。火山性土壌で火成岩や火山灰が凝固した流紋凝灰岩、角礫岩、安山岩が混じり、岩石の硬さを思わせるミネラル感が生まれる。冷たい風が吹き込む為、秀逸な酸をキープし、朝日を十分浴びてゆっくりと熟するため糖度は急上せず、フレッシュさと完熟の両方を兼ね備える白系品種に最適の畑と評価されています。ほんの少量特別に栽培されるボルドー品種からこのレスリーズ・ブレンドが造られます。(オーガニック栽培)

ヴィンテージ：2017VTG はたっぷり雨が降った冬から春、芽吹きは順調だったが、その後雹や熱波があったが、9月に入って穏やかな天候となり、9月中旬メルロの収穫が始まり、カベルネ・ソーヴィニヨンと続き、10月初旬に終了した。

醸造：土壌の違いにより、発酵槽を分け、ステンレス・タンク、コンクリート・タンク、小樽醗酵、コンクリート・エッグを使う。仏産樽にて約 2 年熟成 (新樽率 27%)

味わい：濃い紫の色合い、強烈な森林のアロマにくらくらしてしまう。ドライチェリー、黒スグリ、プロヴァンス・ハーブのニュアンスが次々に立ち上がる。カシスやブラックチェリーのみずみずしい果実の味わいが口中に広がり、マウント・ヴィーダーの特徴である樹脂、苔、針葉樹の爽快感 (ミントのような) が常を感じられる。口当たりはシルクの様に細やかで、タンニンは力強く堅牢だが、全体のバランスは絶妙に取れている。余韻は非常に長く甘いココアとナツメグのスパイス感が余韻の最後に完全性をもたらします。このワインは今後何年も楽しむことができ、今後 10 年から 15 年の間、優雅に熟成し続けるだろう。 Parker Point 96 + P Wine Advocate Jan.2021 by Lisa Perrotti-Brown

輸入・販売：御中川ワイン TEL:03-5829-8161

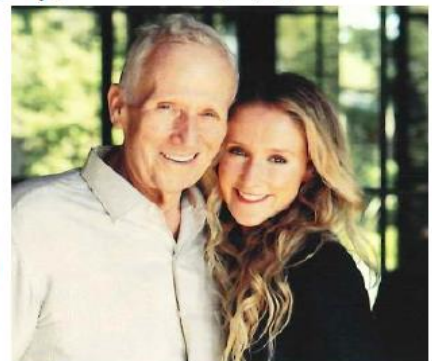
CROSSROADS

クロスローズ by ラッド

— BY RUDD —

ラッドから「クロスローズ」ブランドが新しくリニューアル

ラッド・エステートは創業者・故レスリー・ラッド氏が 1996 年にオークヴィルの国道より東側のオークヴィル・クロスロードとシルヴァード・トレイルが交差するナパ・ヴァレーでも特級のワイナリーが結集する地区に自社畑を購入。ボルドーのシャトー・オー・ブリオンを目標に、素晴らしいテロワールと名立たるワインメーカーのバトンリレーにより高い評価を受けてきました。ワインは自社畑のみから造られ、赤ワインは銘醸地オークヴィルから、白ワインはオークヴィルの西側山麓マウント・ヴィーダーに自社畑を持ち、オーガニック栽培を行っています。2015 年にシャトー・マルゴーのインターンを終え、ワイナリーに戻ったレスリーの娘サマンサが、父レスリーの情熱と宝物である自社畑のワインを継承し、新たな息吹を新しいチームと共に吹き込んでいます。サマンサの新しい取り組みの一つは、今までラッド・ブランドの 3 つのワイン (白 1、赤 2) をセレクトした以外の葡萄は、全て売却されていましたが、



シャトー・マルゴーのパヴィオン・ルージュ・ド・シャトー・マルゴーにならない、セカンド・セクションより

「クロスローズ」ブランドにて赤・白ワインをリリースします。数代前のワインメーカーによりクロスローズのワインは造られていましたが、まったく新しいものとしてラベルもリニューアルしました。クロスローズは全て自社畑の葡萄のみから造られ、醸造もラッドと全く同じ、ブレンド・セクション時に分けられ、追加熟成・瓶詰めされます。

*ナパ・ヴァレーで父から子へワイナリーが精神的にも経済的にも上手く継承されていくケースは稀であり、このラッドのケースは上手くいったケースであると 2019 年 1 月のロブ・レポート(アメリカのラグジュアリー・マガジン)に記事が掲載されました。

ソーヴィニヨン・ブラン マウント・ヴィーダー・エステート ナパ・ヴァレー
2021 SAUVIGNON BLANC Mt. Veeder Estate Napa Valley

希望小売価格 7,800 円 (税別)



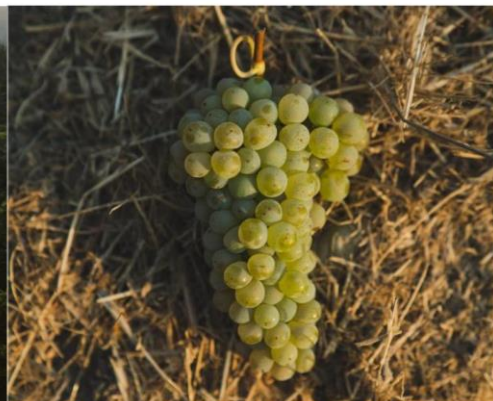
品種：ソーヴィニヨン・ブラン約 90%、ソーヴィニヨン・グリ、セミヨン

畑：ナパ・ヴァレーの西側マヤカマス山脈の南側に位置するマウント・ヴィーダーAVA の北標高 490m に 32ha の土地を持ち、6.5ha に葡萄を植樹・オーガニック栽培。その周りもオーガニックの野菜、ハーブ、オリーブがラッド・ファームとして栽培されている。この土地はかのルイ・マティエニの邸宅があったことでも知られる『エッジ・ヒル』と呼ばれるカリフォルニア最古の畑の一つ。購入時は葡萄樹こそ無かったものの、植樹する品種はフランス・ロワールの故ディデエ・ダグノーからのアドバイスによるもので、植え替えのための指南役が『リッジ』のポール・ドレイパーだったという逸話。山の頂上近く、東南を向き、30 度近い斜面もある。冷たい風が吹き込むことで秀逸な酸をキープし、朝日を十分に浴びゆつくりと熟し糖度は高くまで上らず、フレッシュさを保つソーヴィニヨン・ブランに最適な畑。

ヴィンテージ：2021VTG のマウント・ヴィーダーの冬の雨は少な目、マイルドな温かい春から、温暖で順調な夏を経て、8 月には高温な日が続いた。例年より早い 8 月 14 日からソーヴィニヨン・ブランの収穫が始まり、ソーヴィニヨン・グリとセミヨンを合わせて 13 日間で収穫を終えた、結果として収量も葡萄の房も小さいが、凝縮した高品質な葡萄となった。

醸造：61%コンクリート・タンク、32%数年使いの仏産樽、7%仏産新樽にて醗酵・熟成（約 9 か月）

味わい：グラスからしっかりと立ち上がるアロマは柑橘類を剥いた時のフレッシュさとトロピカル（グアヴァ）、洋梨、グレープフルーツの苦み、石灰の粉、アーモンド、刈りたての草を感じる。ミディアム・ボディでしっかりとした厚みがあり、柑橘系フレッシュさと微かな塩味、マイルドな酸が気持ちの良い余韻を演出する。



— BY RUDD —

ラッドから「クロスローズ」ブランドが新しくリニューアル

ラッド・エステートは創業者・故レスリー・ラッド氏が 1996 年にオークヴィルの国道より東側のオークヴィル・クロスロードとシルヴァード・トレイルが交差するナパ・ヴァレーでも特級のワイナリーが結集する地区に自社畑を購入。ボルドーのシャトー・オー・ブリオンを目標に、素晴らしいテロワールと名立たるワインメーカーのバトンリレーにより高い評価を受けてきました。ワインは自社畑のみから造られ、赤ワインは銘醸地オークヴィルから、白ワインはオークヴィルの西側山麓マウント・ヴィーダーに自社畑を持ち、オーガニック栽培を行っています。2015 年にシャトー・マルゴーのインターンを終え、ワイナリーに戻ったレスリーの娘サマンサが、父レスリーの情熱と宝物である自社畑のワインを継承し、新たな息吹を新しいチームと共に吹き込んでいます。サマンサの新しい取り組みの一つは、今までラッド・ブランドの 3 つのワイン（白 1、赤 2）をセレクトした以外の葡萄は、全て売却されていましたが、シャトー・マルゴーのパヴィオン・ルージュ・ド・シャトー・マルゴーにならない、セカンド・セクションより「クロスローズ」ブランドにて赤・白ワインをリリースします。数代前のワインメーカーによりクロスローズのワインは造られていましたが、まったく新しいものとしてラベルもリニューアルしました。クロスローズは全て自社畑の葡萄のみから造られ、醸造もラッドと全く同じ、ブレンド・セクション時に分けられ、追加熟成・瓶詰めされます。＊ナパ・ヴァレーで父から子へワイナリーが精神的にも経済的にも上手く継承されていくケースは稀であり、このラッドのケースは上手くいったケースであると 2019 年 1 月のロブ・レポート(アメリカのラグジュアリー・マガジン)に記事が掲載されました。



カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィル・エステート ナパ・ヴァレー
2018 CABERNET SAUVIGNON Oakville Estate Napa Valley

希望小売価格 12,500 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン約 85%、カベルネ・フラン、マルベック、プティ・ヴェルド

畑：ナパ・ヴァレー、オークヴィルの国道 29 号線より東側のヴァレーフロアから、シルヴァード・トレイルを越えて西側の丘陵までの土地は、ナパ・ヴァレーのメッカとも言えるべき、超有名ワイナリーがひしめく。スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディなど。ラッドはそのほぼ真ん中に自社畑を 1996 年に入手しました。母岩は硬い火山岩で、3 つの違った土壌を持つ。ワイナリーを取り囲む 23ha は赤土が混じる火山性土壌、ワイナリーの北側 16ha はなだらかな斜面で小石が混じる川の堆積土壌で水はけが良い。オークヴィル・クロスロードの南にある 3ha の区画は粘土質と砂が混じった東向き斜面。三つの違う種類の土壌により、多様性のある葡萄が栽培される。カベルネ・ソーヴィニヨン主体に、カベルネ・フラン、マルベック、プティ・ヴェルドが植樹されている。オーガニック栽培で、羊が放たれ動き回ることにより土が柔らかく保たれ、益鳥、益虫により自然を生かした生態系を作り、葡萄畑を健全な状態にすることに注力している。

2018VTG：むずかしかった 2017VTG の後、品質、収量とも完璧なナパ・ヴァレーのお手本とも言える年。たっぷり雨が降った冬から春、おだやかな初夏から十分な日照、熱波もなく栽培チームが十分な管理を行え、収穫も最適なタイミングを捉え何回にも分け、糖度・成熟度を見て収穫。素晴らしい葡萄となった。

醸造：土壌・葡萄の個性に合わせた形の違うステンレスタンク、自社畑の岩を砕いて混ぜたコンクリートタンク、小樽醗酵 (225ℓ-500ℓ、葡萄の攪拌を回転させて行う) など、数種類の醗酵槽を使い分ける。

熟成は仏産数年使いの樽 54%、仏産新樽 38%、テラコッタのアンフォラ 4%、ステンレスタンク 4%で約 22 か月

味わい：鉄分を多く含んだ赤土土壌の個性がワインの味わいにも現れ、土っぽさ、赤味の肉などのオークヴィルのカベルネ・ソーヴィニヨンらしさが葡萄の持つ本来の果実味 (プルベリーやストロベリーのニュアンス) と共に楽しめる。フルボディ、濃い色合い、凝縮感のあるタンニン。今直ぐにも楽しみ、熟成も十分に期待できる。Parker Point 90P Wine Advocate Jan.2021 by Lisa Perrotti-Brown



カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィル・エステート ナパ・ヴァレー
2019 CABERNET SAUVIGNON Oakville Estate Napa Valley

希望小売価格 12,500 円 (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン約 85%、カベルネ・フラン、マルベック、プティ・ヴェルド

畑：ナパ・ヴァレー、オークヴィルの国道 29 号線より東側のヴァレーフロアから、シルヴァード・トレイルを越えて西側の丘陵までの土地は、ナパ・ヴァレーのメッカとも言えるべき、超有名ワイナリーがひしめく。スクリーミング・イーグル、ボンドのひとつセント・エデン、ダラ・ヴァレ、ピーター・マイケルのオー・パラディなど。ラッドはそのほぼ真ん中に自社畑を 1996 年に入手しました。母岩は硬い火山岩で、3 つの違った土壌を持つ。ワイナリーを取り囲む 23ha は赤土が混じる火山性土壌、ワイナリーの北側 16ha はなだらかな斜面で小石が混じる川の堆積土壌で水はけが良い。オークヴィル・クロスロードの南にある 3ha の区画は粘土質と砂が混じった東向き斜面。三つの違う種類の土壌により、多様性のある葡萄が栽培される。カベルネ・ソーヴィニヨン主体に、カベルネ・フラン、マルベック、プティ・ヴェルドが植樹されている。オーガニック栽培で、羊が放たれ動き回ることにより土が柔らかく保たれ、益鳥、益虫により自然を生かした生態系を作り、葡萄畑を健全な状態にすることに注力している。

2019VTG：素晴らしい 2018VTG 後どうなるかと心配したが 2019 年は再び素晴らしい年となった。冬にはたっぷりと雨が降り、穏やかな春から夏、数度の熱波が来たものの、夏の終盤は涼しくなり、葡萄はゆっくりと成熟し、長い生育期間を持つことができた。9 月 25 日から収穫が始まり、10 月の後半まで区画毎の個性に従った収穫タイミングを待ち、素晴らしい色合いと力強さ、豊かなタンニンが得られた。

醸造：土壌・葡萄の個性に合わせた形の違うステンレスタンク、自社畑の岩を砕いて混ぜたコンクリートタンク、小樽醗酵 (225ℓ-500ℓ、葡萄の攪拌を回転させて行う) など、数種類の醗酵槽を使い分ける。

熟成は仏産数年使いの樽 54%、仏産新樽 46%約 22 か月熟成。

味わい：鉄分を多く含んだ赤土土壌の個性がワインの味わいにも現れ、土っぽさ、赤味の肉などのオークヴィルのカベルネ・ソーヴィニヨンらしさが葡萄の持つ本来の果実味 (プルベリーやストロベリーのニュアンス) と共に楽しめる。フルボディ、濃い色合い、凝縮感のあるタンニン。今直ぐにも楽しみ、熟成も十分に期待できる。

